## みづゑ第八十六號要目

方の初勢(一)	) 興	非人情の記(三)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	四月(水彩畵原色版)	教師室から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大下藤次郎氏の逸事(下)	<b>繪日記(寫眞版)</b> ····································	續三脚物語(二)	海洋の描法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	椿(水彩講原色版)	沖繩土產	水彩畵にホワイトを使用する場合	アルプス山中の白雲岩(水彩畵原色版)…	山岳の水彩畵家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グドソン河(水彩書原色版)	
					:						: /2	:			
	二月	矢	ボ	服	長	故大	為鳥	小	故大	石中	石	:	小	故获	
	張	代	1	部	野	下	澤	神野	下	лілі	M		島	原	
	弧	幸	1	嘉	菊次	藤	四	三	藤次	寅八	欽		烏	守	
	雁	雄	>	香	郎	即	丁	男四	郎	治郎	郎	ネ	水	衞	
		~~	•••	~~	~~~	~~ 	~~~			~~~	~~	· · ·	~~	~~~	

## 「みづる」の小史

「みづゑ」は明治三十八年七月大下藤次郎の創刊にして本邦に於ける水彩畵専門研究の最初且つ唯一の雑誌なるのみならず現存洋畵雑誌中にて最古のの後は同人事業の記念として遺族大下春子及び同正男に於て繼續經營することとなり故人の親友及び門下生その他斯道専門家の賛助な得て引きついき發行す發刊以來八星霜の間期日を愆またず毎月